

パウダーマシン

BL eC 5 Instant

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意	3
主な仕様	6
各部の名称	7
準備	9
メニューの抽出方法	10
パウダーの補充方法	11
定期的なクリーニング	12
1. 毎日のクリーニング.....	12
2. 週1回のクリーニング.....	14
エラー番号　トラブルシューティング	18
消耗品について	19
保証とアフターサービス.....	20
保証書	21

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やパウダー等が無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。

- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やパウダー等を全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときは、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断機の設置をお願いします。

注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。
- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

操作を行なう時の注意事項

注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を用意してください。抽出中は、パウダーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- パウダーマシンの作動中、パウダー用キャニスターの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- 抽出ライン(ミキサー等)の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくと、系統内に残った抽出液等に細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- パウダー用キャニスターは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくと雑菌が繁殖することがあります。
- パウダー用キャニスター内にパウダーが入っている状態でパウダー用キャニスターを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとパウダー用キャニスターが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分(アクリル製)にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

主な仕様

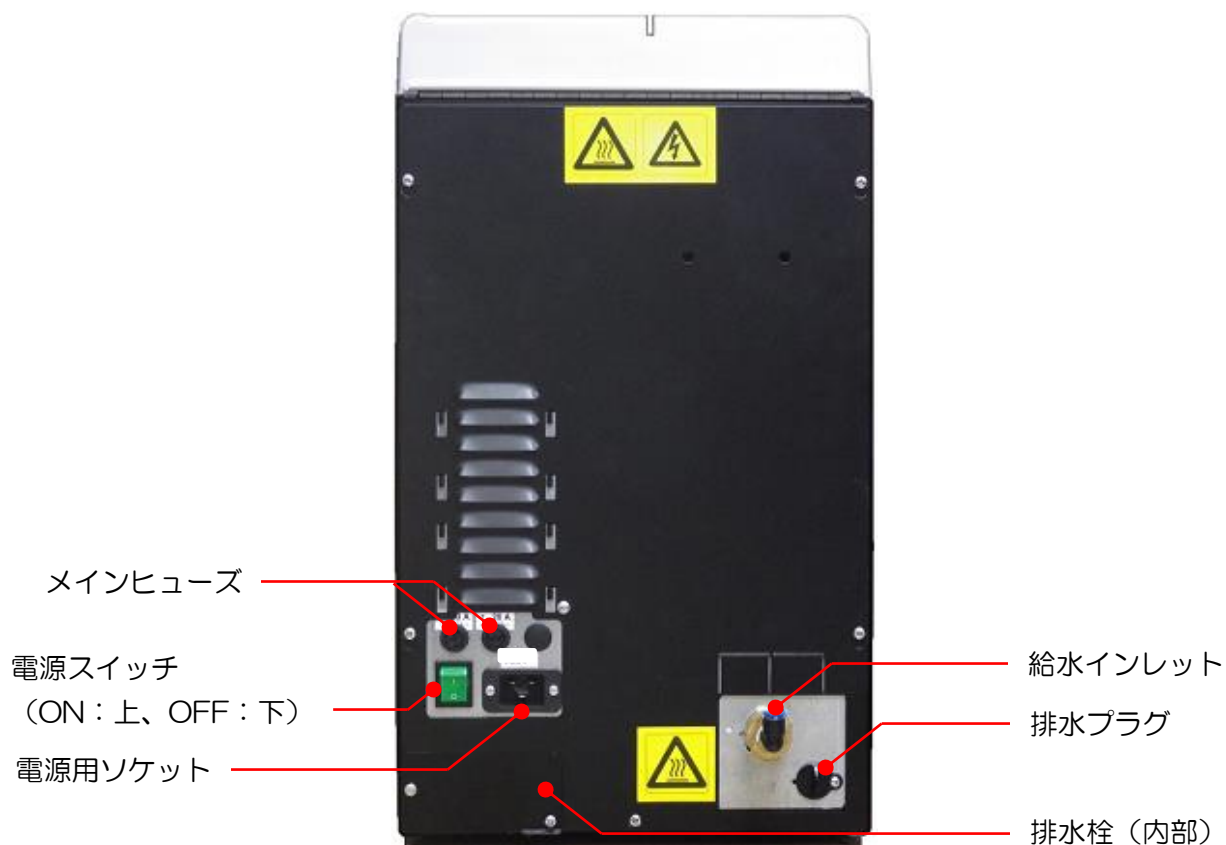
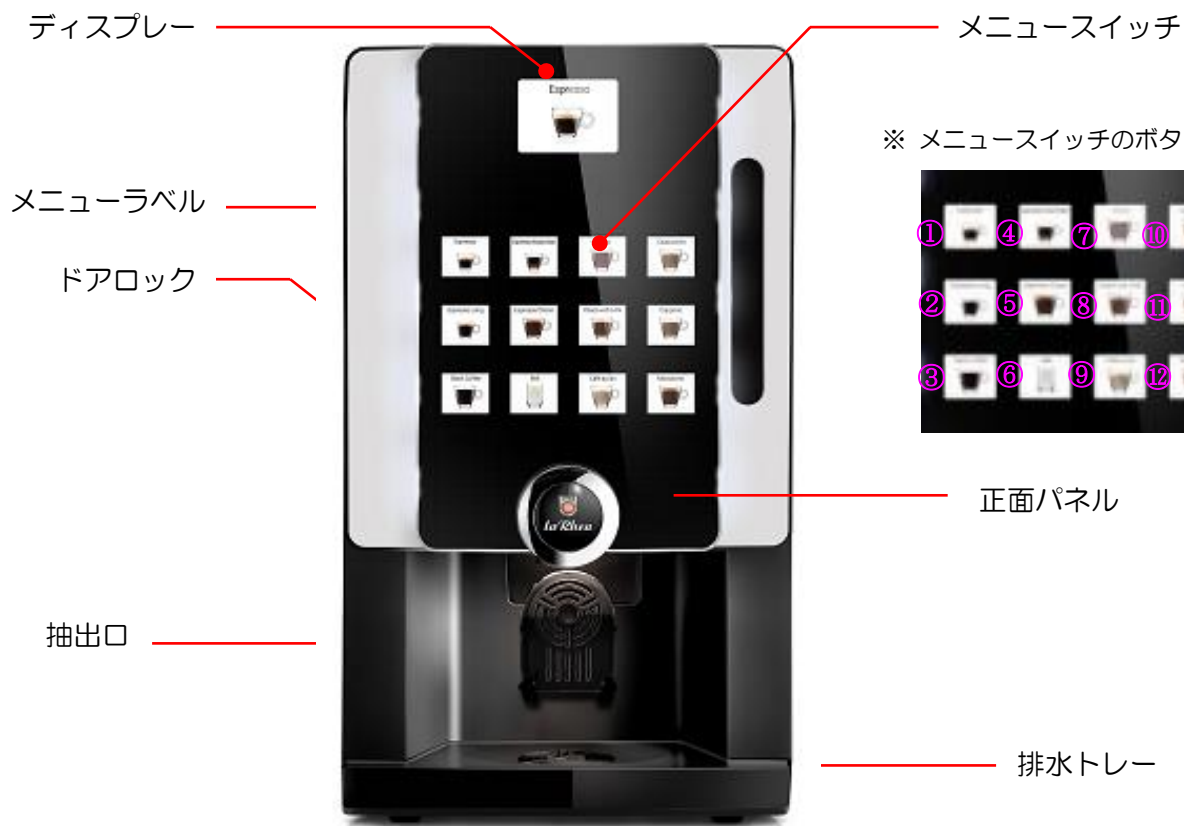
項目	仕様
幅	318 mm
高さ	560 mm
奥行き	543 mm
重量[非満水時]	22 kg
パウダー用キャニスター種類 ※粒度によって重量に差があります	小:幅 55mm、約 0.8Kg
パウダー用キャニスター構成	小×5
ミキサー	3
メニュー数	10
排水トレイ容量(エラー表示容量)	500cc
ボイラー容量	2.2 L
ポンプ	内蔵式ポンプ
電気容量/電流(KW/A)	1.1 KW / 11 A
使用電源	100V 50 / 60 Hz
電源コード	約 2m
水道圧	0.1～0.5 メガパスカル(MPa)
給水接続方法	15A バルブ止め
水硬度	50 以下(ppm)
使用温度・保管温度	5 - 35 ° C
使用湿度	80% 以下

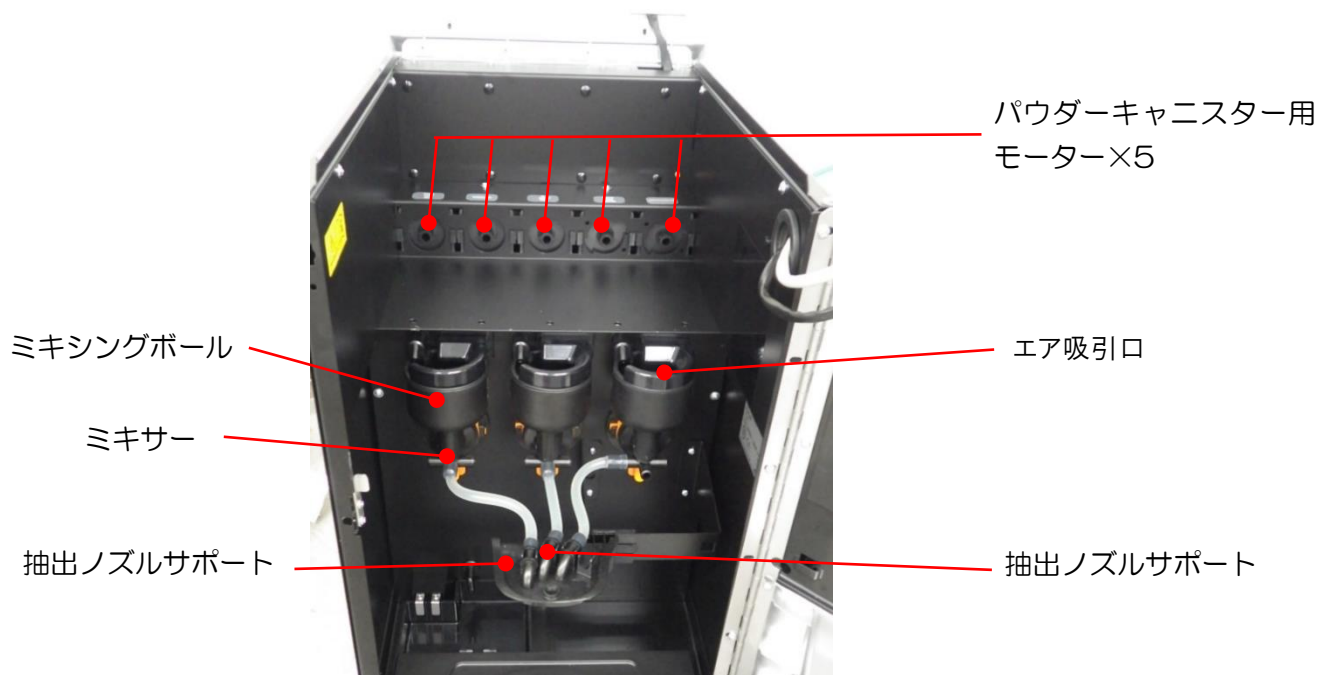
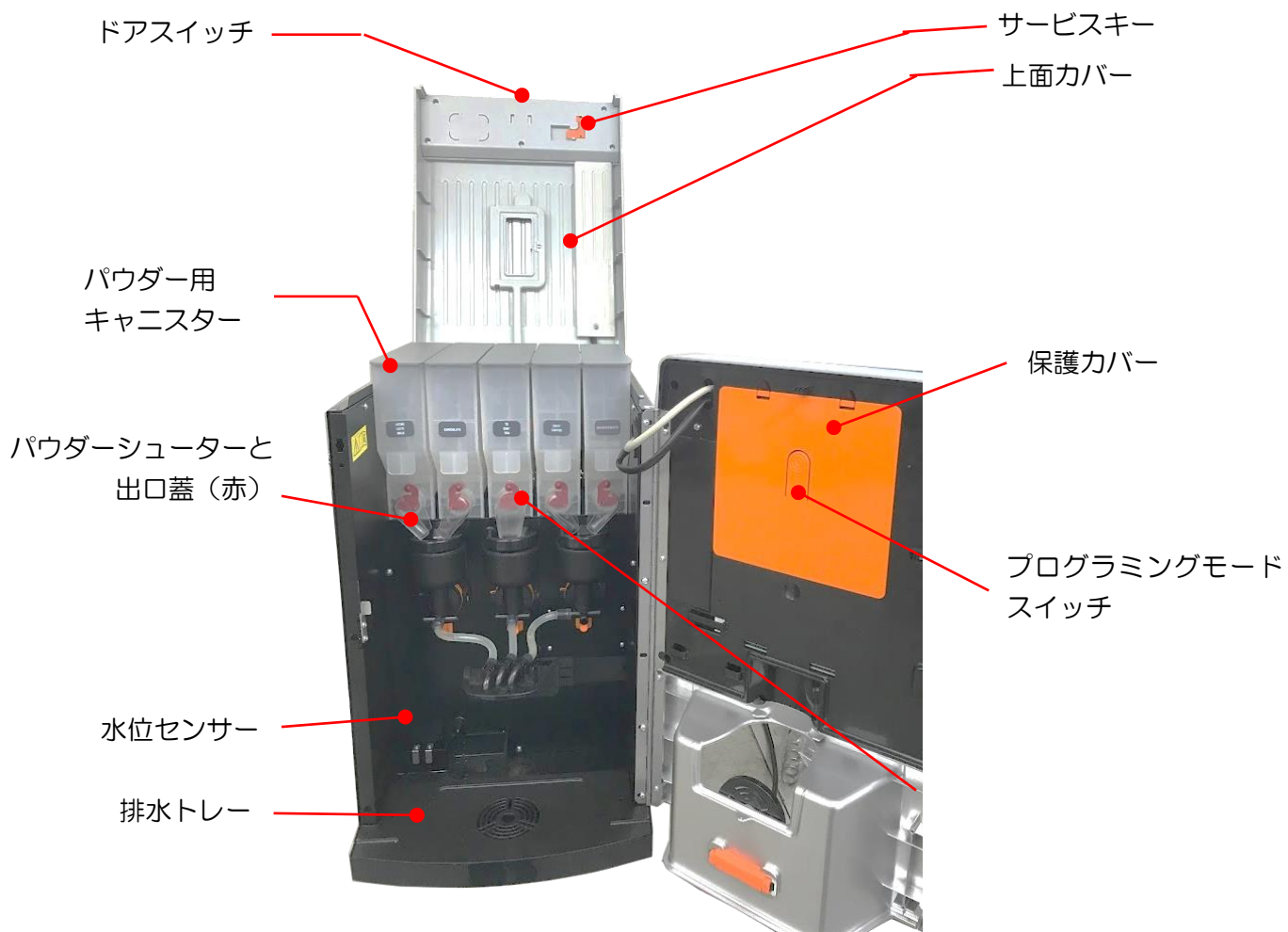
(注)凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

(注)お湯では無く必ず水を給水してください。

(注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類、純水や純度の高い水は
使用しないでください。

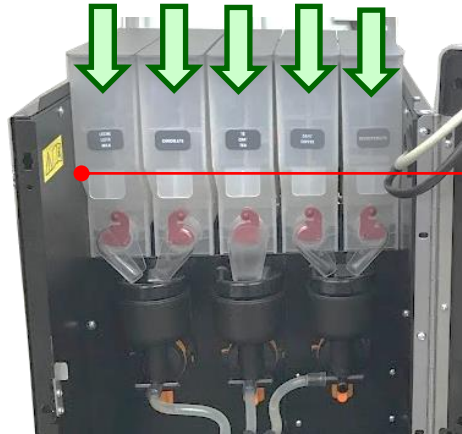
各部の名称





準備

1. 給水栓を開いてください。
2. ドアロックを解除し、正面カバーを開けて、パウダーがキャニスターに半分以上入っているか、確認をします。

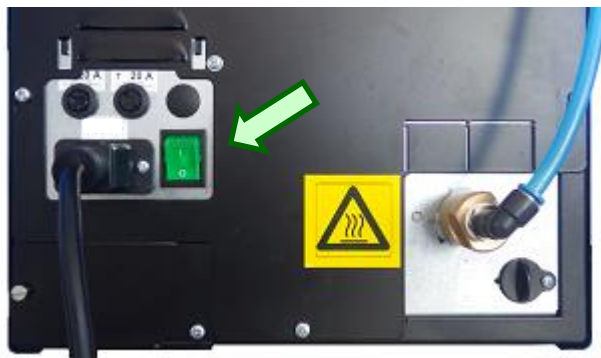


赤いライン以下になりましたら原料を補充してください。

3. 排水トレイが空であることを確認します。



4. 正面扉を閉じ、ドアロックを行った後、電源スイッチを入れてください。



5. タンク内の水を加熱し、準備ができれば、下記のメッセージが表示されます。

カップラ
オイテクダサイ

メニューの抽出方法

1. 抽出ノズルの下に、カップを置いてください
背の低いカップの場合は、カップ台を使用してください。
2. 希望するメニューのメニュースイッチを押してください。
3. 抽出が終了すると、カップ付近の LED が赤色に点滅します。



パウダーの補充方法

1. ドアロックを解除して、正面カバーを開き、上面カバーを上を開けます。
2. キャニスターの蓋を開け、パウダーを補充してください。



パウダー用キャニスター



パウダーの残量が少ないと、同じメニューでの供給量が大きく変化する場合があります。
パウダーの残量が赤いラインを下回ったら、パウダーを追加することをお勧めします。

常に新鮮なメニューでご提供していただくために、おおよそ1日の消費量を補充することをお勧めします。



赤いラインより少なくなりましたら補充してください。

パウダーキャニスターのセット



機器本体側左側より
TOPPING
CHOCOLATE
TEA
DECAF
COFFEE の順にセットします。

キャニスター（パウダー容器）前面に名前を貼ってます。



パウダーキャニスターは、本体側の名前とキャニスター（パウダー容器）の名前を合わせてセットしてください。

※セット位置を間違えますと別のメニュー原料が抽出されます。

定期的なクリーニング

毎日のクリーニング（クリーニングモードによる清掃）

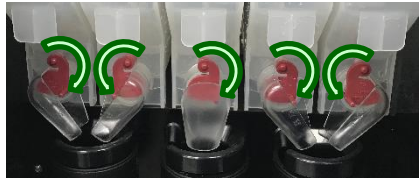
1日の運転の終了時等、1日に1回、清掃する内容です。

(1). パウダーシューターと排水トレイの清掃

<1> ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。



<2> パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。



<3> 付属のブラシを使い、パウダーシューター付近に付着しているパウダーを取り除いてください。



付着したパウダーが取りにくいときは、キャニスターを取り外し洗浄してください。

※「月1回のクリーニング」を参照

<4> 排水トレイを抜き、水洗いしてトレイをマシンに戻します。



<5> 正面カバーを閉めてください。




※ この後、クリーニングモードによるミキサーラインの洗浄を行います。
次ページに進んでください。

(2). クリーニングモードによるミキサーラインの洗浄


＜1＞サービスキーをドアスイッチ用穴に挿入し、90度回転させて固定し、通電してください。



＜2＞そのまま上面カバーを上を開き、その状態で正面カバーを閉じてドアロックをかけてください。




＜3＞付属の1L カップを、排水トレイの上に置いてください。



＜4＞抽出待機状態になったら、正面扉の後ろに手を回し、プログラミングモードスイッチを長押しすると、メニュー選択画面が現れます。



1=プ`ラ`グ`ラ`ン`ク
2=テ`タ` 3=テ`ス`ト

↕ 交互に表示

4=リ`ン`ス` - ク`リ`-`ン`グ`
5=メン`テ`ナ`ン`ス` 6=モ`ド`ム`

＜5＞④スイッチを押して、リンス-クリーニングを選択します。

次に下記の表示になり、排水トレイが空である事を確認し⑩スイッチを押してください。

**ハイス`レ`イ` カ`ラ`?
10=ス`タ`-`-`ト`**

＜6＞次に下記の表示になり、給水タンク式の場合は、水の残量を確認し⑩スイッチを押してください。

**ウ`オ`-`タ`-` OK`?
10=ス`タ`-`-`ト`**

＜7-1＞ディスプレイは下記表示となります。

ク`リ`-`ン`グ` 1-2-3-4

メニュースイッチの①-④スイッチを押すと選択された経路の洗浄がスタートします。


＜7-2＞ 抽出スイッチ 1～4



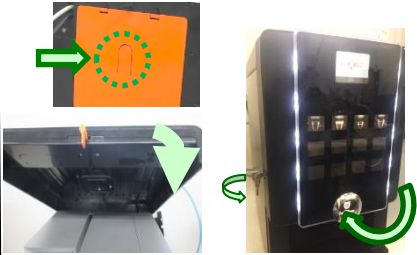
メニュースイッチ① 左側ミキサーライン
メニュースイッチ② 真中ミキサーライン

＜8＞洗浄動作が開始され、抽出口より洗浄の湯が排出されます。それぞれのスイッチに対して **2回洗浄** してください

⚠ この時抽出口よりお湯が出ますので注意してください



＜9＞プログラムボタンを押しクリーニングモードを解除し、プログラムキーを抜き、上カバーと前面パネルを閉じ、ドアキーをロックします



1日の使用を終了する場合等は、マシン後面のメインスイッチを OFF にしてください。

週1回のクリーニング（ミキシングボールとパウダーキャニスターの分解清掃）

※毎日のクリーニング後に、ミキシングボール、パウダーキャニスターの洗浄を行います。

(1) ミキシングボール、パウダーキャニスターの取り外し。 ミキシングボール清掃。

<p><1>ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。</p> 	<p><2>パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。</p> 	<p><3>5個のパウダーキャニスターを、持ち上げながら手前に引いて取り外してください。</p> 
<p><4>抽出ノズルサポートから、パウダーノズルを取り外してください。</p> 	<p><5>ミキシングボールのオレンジ色の固定レバーを時計回りに約 30 度回して緩める。</p> 	<p><6>ミキシングボール手前に引っ張り、取り外してください。</p> 
<p><7>エア吸引口を手前に引きだして、取り外してください。</p> 	<p><8>ミキシングボールの洗浄。 ミキシングボールとカバーリングに分けて洗浄してください。 チューブの穴は、ブラシを使って洗浄してください。 パウダーが固まって取りにくいときは、温水に浸け置きし洗浄してください。 ※ 食器洗浄機には入れないでください。</p> 	
<p><9>エア吸引口の洗浄。 溝の部分の汚れに注意して洗浄してください。</p> 	<p><10>マシン内部の清掃。 硬く絞った布で内部やミキサーを清掃してください。</p> 	

(2) ミキシングボールの取り付け。

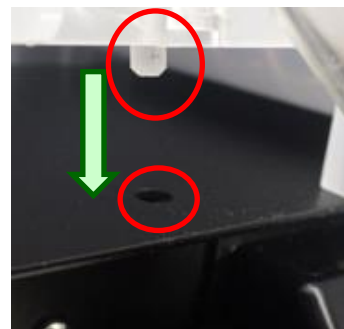
<p>＜1＞エア吸引口を挿入してください。</p> 	<p>＜2＞カバーリングの突起部をミキシングボールの溝に合わせてはめ込んでください。</p> 	<p>＜3＞ミキシングボールを持ってはめ込んでください。</p> 
<p>＜4＞オレンジ部を右に回転させて止めてください。</p> 	<p>＜5＞チューブを抽出ノズルサポートに取り付けてください。（一番右側は空いています）</p> 	
<p>注意 3つのミキサーボールは取り付け場所が決まっています。 ※ミキサーボールにささるチューブ位置やチューブの長さが違います。 取り付けを間違わないようにしてください。 詰まりや故障の原因になります。</p>		

(5) マシン内部の清掃とパウダーキャニスター取り付け

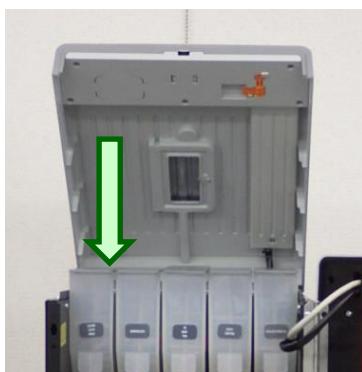
<1> マシン内部を硬く絞った布で清掃してください。



<2> パウダーキャニスターの蓋をした後、黒のリングナットをキャニスターモーターに挿入し、前面の穴にキャニスターの突起を差し込んでください。



<3> 上カバーを閉じてください。



<4> パウダー用キャニスターの出口蓋を開いてください。



<5> 排水トレーを手前に引き出してください。



<6> 排水トレーの洗浄。
汚れ具合によりスポンジ等を使い、すのこ、トレーとに分けて洗浄してください。



<7> マシン内部を硬く絞った布で清掃してください。



<8> トレーを中に入れてください。



<9> 正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。



エラー番号 トラブルシューティング

エラーコード	内容	対応方法
OFF 3	排水トレイ 排水トレイの水位が排水レベルに達した。	排水トレイの水を排水してください。
OFF 5	CPU 基板	弊社へご連絡ください。
OFF 6	給水	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の元栓が開いているか、確認してください。 ・給水ホースの折れや潰れが無いか、確認してください。 ・水漏れを起こしていないか確認してください。 ・水圧が正常な場合、弊社へご連絡ください。
OFF 6 A	・給水ホースの折れや潰れ。	
OFF 6 B	・水の元栓が閉じている。	
OFF 6 C	・水道断水。	
OFF 6 D	・水圧が弱い。	
OFF 6 G	ボイラータンクへの給水時間が長い。	
OFF 7 OFF 7 A	コーヒー系 ボイラーポンプ以上	弊社へご連絡ください。
OFF 10	CPU 基板	弊社へご連絡ください。
OFF 14	給水	水圧の確認してください。 水漏れを起こしていないか、確認してください。 水圧が正常な場合、弊社へご連絡ください。
OFF 14 B	ボイラータンクへの給水エラー	
OFF 24 OFF 24 A OFF 24 B	直流電源 24V DC の電圧異常	弊社へご連絡ください。
OFF 31 OFF 31 A OFF 31 B OFF 31 C OFF 31 D	コーヒー用の水の温度 ボイラーの温度異常。	弊社へご連絡ください。
OFF 33 OFF 33 A OFF 33 B OFF 33 C OFF 33 D	コーヒー用の水の温度 ボイラーの温度異常。	弊社へご連絡ください。

消耗品について

主な消耗品として、以下の部品が有ります。

部品名称	備考
パウダー用キャニスター、蓋、および付属品	
清掃用ブラシ	
排水トレイ	
ミキシングボール	
抽出用チューブおよびノズル	
各種 O リング、ガスケット	
CPU 基板上のバッテリー	
ヒューズ	
サービスキー	

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間: 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)	
型 名	リアヴェンドーズ社製 パウダーマシン BL eC 5 instant
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お 名 前
	住 所
	〒
	電話 ()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で目つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。

2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいとさせていただきますようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更

を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。

5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重大過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 等）の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損傷（外觀、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリー、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事案に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

]



ブルーマチックジャパン株式会社

本社: 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



051420